

再発見 スクラムのメカニズム

scrummage「組打ち」がラグビープレー用語となり、現代では scrum と簡略な言葉がラグビー公用語として使われることになりました。スクラムはラグビーの典型的なプレーの一つで、力強い興味深いものですが、要領を習得していない人達が力まかせに組むと危険でもあります。事故なく楽しいスクラムを組む要領を復習しましょう。

scrummage には定型的に固く組み合う tight scrummage と定型的でなく双方バラバラに組み合う loose scrummage ありました。loose というのは「ゆるい」という意味ですが、組方が緩いということではありませんでした。標題は前者即ち小さな反則等に対して笛が吹かれ試合を再開するためにセットされるスクラムです。蛇足ながら loose scrum という用語は現在使われなで、ラックと呼んでいます。

スクラムに無駄で無用の労力と時間が費やされていることは残念なことです。スクラムでの無駄と無用の労力と時間を展開継続に回すことによってラグビーはもっと流動的で面白くなります。現代ラグビーの原典である The Guide for Coaches は多くのことを示唆しています。それは現在 IRB が目指している simple and easy rugby に共通するものです。

The Guide for Coaches は絶版になっていますが、現在も原典のなかの原典として研究に無くてはならないものです。スクラムはただ押し合うもの（天動説）でないという原理は、押し合うことにやり甲斐を感じていた多くのプレーヤーにとっては、地動説にあたるものでコペルニクスの転換を強いるものでした。蛇足ながら、1960~1970 年代における大改革は、目標とした 90 度の半分の 45 度位の改革成果しか得られなかったのです。power の時代に勝利至上主義の前に抗しきれなかったというのが現実ですが、正道志向は不変のままに、研究は地道につづけられているのです。

温故知新。原典の UNIT SKILLS~~FORWAEDS をもう一度開いて見ましょう。

QUALITY POSSESSION FROM

SCRUM	LINE-OUT	RUCK	MAUL
1. Foot placing more important than shove.	1. Thrower must throw accurately.	1. Commit opposition over gain line.	1. Support man with ball forcefully.
2. Concentration on snap shove and lock.	2. Every forward has a job to do.	2. First men over ball.	2. Drive hard forward .
3. Watch mechanics (not 3-2-3 with flankers up).	3. Catcher must make ground towards opponents.	3. Bind hard and tight, form wedge and scan.	3. Slip to clear or ball to ground.
4. Flankers pack down at wide angle and stay there.	4. Variety essential.	4. 'Don't be a fairy.'	4. Ball not whistle.



GOOD BALL

THE USE OF QUALITY POSSESSION

AIM: to play in the effective area, i.e., over gain line.

1. Move **FORWARD**—by running or kicking.
2. Attempt to run—but not at expense of losing or being ineffective.
3. Opposition most vulnerable when *fatigued* or *out of position*.
4. Carefully select attacking positions—then 100 per cent exploitation.
5. Therefore—*play must be CONTINUOUS*.

Think of **NEXT PHASE OF ATTACK** Scan
Switch

BALANCED VARIETY

extend opposition physically and mentally.

QUALITY POSSESSION from SCRUM 「スクラムからボールの獲得」の道筋をたどりましょう。push「押す」という言葉は全く使われていないことに注目してください。

shove はコツンと小突くように一押し、snap はプツリ切れるような、snap lock はバネ錠の事です。表のスクラムの欄 1~4 は主要要素が並べられています。

1. shove より足を良い位置に定着することの方が重要である。
2. 小突くように一押しして、ガチッと錠がかかるように固定することに集中する。
3. 各々職能を完うする（フланカーは3-2-3法ではなく前へ）。
4. フランカーは開いた角度をつけてパックする。

昔のことをたどれば、FW8人の組方にもいろいろ変遷がありました。第1列3人になって、押すことを主眼とする323システムが基本型の時代が長く続きました。1960年代になってラグビー現代化の波に沿って、341システムが取り入れられるようになりました。それはグローバルな普及と、面白いラグビー追求の線上で、不定型的で流動的なラグビーが広まり、simplerでeasierであることを志向する流れに乗ったものです。

RUGBY FOOTBALL UNION Coaching Pamphlets

PAMPHLET III

UNIT SKILLS — FORWARDS

Quality Possession from

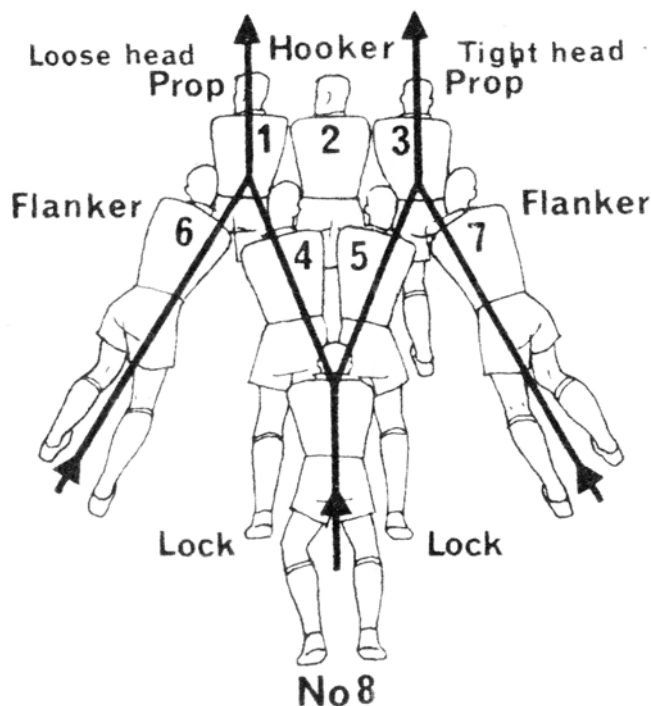
SCRUM

At all levels, 3-4-1 is infinitely preferable
to 3-2-3 for several reasons.

The main points concerning mechanics are:—

A. 3-4-1

1. Shove concentrated on opposing props.
2. Own hooker has free movement, no shoving responsibility, concentrates on quality possession.
3. Own props square and resistant.
4. Flankers are most efficient when packing at a wide angle.



全てのレベルにおいて、341 システムは 323 システムに対して幾つかの理由で大いに望ましいものであると説明し、そのメカニズムの重点をいくつか上げています。先ず、位置と名称を図で確認しましょう。

hooker フッキングする人 prop 支柱 lock 強い固まり flanker 横に付く人 No.88 番目
名称はそれぞれ主要な働き等を示しています。
組む要領と働きの留意点は次のようなものです。

1. Shove はそれぞれ相手ブムップに集中する。
押しの方向矢印に注意しましょう。
100% 力が前へ働くものではありません。
2. 味方フッカーの動きを全く自由に保つ、shove の責任は無い、ボール獲得に集中
3. 味方両プロップは身体を真っ直水平に保ちじっと耐える
square 四角形です。身体を曲げたりねじったりすることはいけません。頭を下げると崩れる危険があります。
4. 両フランカーは開いた角度でパックし最も効果的であるようにする
押す方向は中心へ全員の力集中するのがもくたきです。

スクラムは「押し合でなく」、足でのボールの取り合いであり、展開へのスターティングブロックに例えられるものであることを説明しています。Laws の中に push 押すという言葉も使われていますが、競技方法の中で使われているだけです（相手側のボールキャリアーをタックルし捕らえ押すことができる）。

323 システムはどちらかといえば「押す形」ですが 341 システムは押すことを機能としたものではありません。次のことが重点になっています。

1. 足の位置を正確に固定する。
事故防止に大切です。不安定な態勢から組むのは危険です。
相手と激しくぶつかり合うことのない間隔が必要です。
2. コツンと一押し、そして「ばね錠」固定する。
3. 323 システムと違うフランカーの職務遂行する。
4. フランカーは開いた角度で組み展開に備え職務遂行する。

重点の第一は足の位置：足の位置と役目は相互共通のものです。

Principles of 3-4-1

1. Foot placing more important than shove to provide correct channel.
2. Concentration on snap shove and lock.
3. Watch mechanics—not 3-2-3 with flankers up.
4. Flankers pack down at wide angle and stay there.

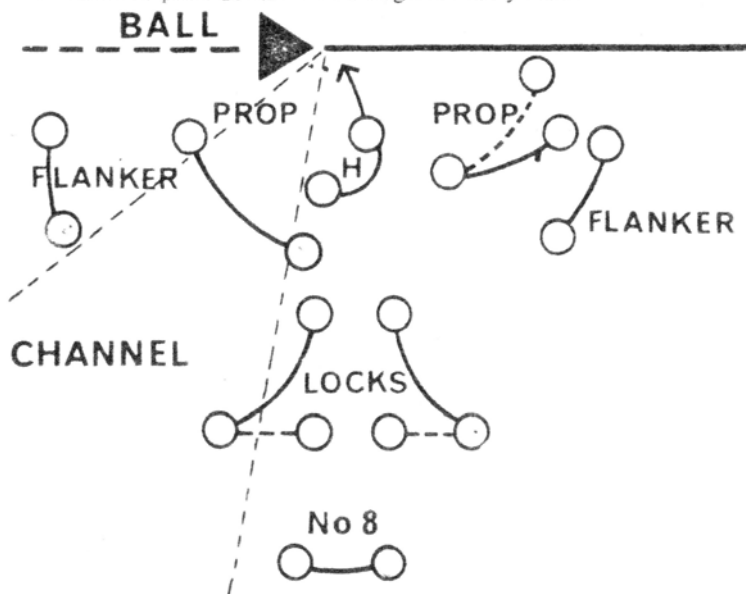


Diagram 3.

Important points to watch in scrumming.

1. All heads UP, except possibly hooker who must watch the ball in scrum-half's hands.
2. All forwards should attempt to see the ball into and through the scrum.
3. All forwards BIND TIGHT.
4. COMFORT is essential and so selection of forwards according to physique is vital.

Note: No. 8 is often superfluous on own ball, and can become extra back—numerous ploys possible: only because of independence from flankers—compare 3-2-3.

[第3図]

フッカー右足	フッキングのために少し前
左足	チャンネル一杯
loose head prop	
右足	フッカーの左足の近く
左足	チャンネルを開ける
tight head prop	
右足	少し前 通り抜け防ぐ
左足	支点となる
両ロック	内側前、外側後ろ 両足で安定 両足を前後に固定して前進力にまとめる
両フランカー	両足少し開いて、中心方向へ押す
No.8	縦の中心線の両側に開いて固定

ボール投入からフッキングそしてボールの通る基本的道筋 CHANNEL は一連の動きの統合されたものです。力と時間の無駄無くボールがボックスに渡り展開される道筋です。全体的に押す態勢ではありません。フランカーとNo.8 は展開態勢にあります。

scrumming スクラムを組むにあたっての留意点が4つあげられています。

1. 全員頭あげる。
2. 全員ボール見る。
3. 全員固くパックする。
4. 安楽であることが肝要で、体格によってFW から選考することが絶対に必要。

comfort（安楽であること）ということがスクラムを組む条件の一つにあるということは非常に重要で意味深い言葉です。安楽ということはスクラムになじまないという気持ちで「スクラムで最も大切なことは」と質問した時、compact and tight そして comfortable という答えを最初に聞いた時は、スクラムの真髄に触れた気持ちでした。

No.8 は味方ボール展開に当たって屡一時的バックになることもあり、数えられない位おおくの役目を果たすことができる、フランカーから独立しているという理由だけでも 323 システムと比較してもそうです。

整理とまとめ

勝負を争う場合、勝つにはどうすればよいか必死に考え工夫するのは当然な考えです。押し勝つことを至上に努力しているスクラムは、足の位置やボールのチャンネルが相当の工夫がなされています。スクラムは再開プレーの一つとして、ラグビーの特徴を表すものです。再開は simple and easy でスムーズに再開されることが必須条件です。続く展開が最重要課題なのです。スクラムの原点に戻って研究し、事故なく、興味深く戦うという方向性を誤らないことが大切です。

2008.10.11

西川 義行